

～ 海洋資源を活用した脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～

地球環境にやさしい横浜のトライアスロン大会

“海”でカーボン・オフセット！シンポジウムで証書授与式を行います！



環境未来都市・横浜市は、海洋資源を活用した新たな脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」におきまして、横浜市独自のカーボン・オフセットによる取組みを平成 26 年度から開始しています。27 年度は、前年度から規模を拡充し、**地元の企業・団体の「ワカメの地産地消」等による CO₂削減効果を活用し、市内で開催された 2 つのトライアスロン大会で排出された CO₂ のオフセットを行います。**このプロジェクトは、臨海部の脱温暖化を進めるとともに、環境保全や環境啓発に関する活動と連動し、沿岸環境の魅力向上させていくことで「親しみやすい海づくり」にも取り組んでいきます。

第4回ブルーカーボン・シンポジウム in 横浜

平成 28 年 1 月 27 日(水)
13 時 30 分～17 時 30 分

情文ホール

横浜市中区日本大通 11 番地
横浜情報文化センター7階

横浜ブルーカーボンによるカーボン・オフセットの概要

トライアスロン大会開催による CO₂ 排出量 22.8 t-CO₂ をカーボン・オフセット

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

世界最高峰の大会で、トップアスリートによる「エリート」の部、リオデジャネイロパラリンピックから正式競技となる「パラトライアスロンの部」、一般参加の「エイジ」の部があり、2 日間にわたり開催されました。

【開催日】

平成 27 年 5 月 15、16 日

【会場】

山下公園周辺特設会場

【出場者】 1,573 名



第6回 横浜シーサイドトライアスロン大会

誰でもチャレンジしやすいトライアスロンや“スイム&ラン”2 種目のアクアスロン、小学生から参加でき親子で楽しめるペアチャレンジ、仲間と一緒に参加できるリレーなど、多くのカテゴリーがあり、たくさんの方が楽しめる大会です。

【開催日】

平成 27 年 10 月 25 日

【会場】

横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺

【出場者】 857 名



杉の木 約 2,600 本分の
カーボン・オフセット

「カーボン・オフセットの内訳」は次ページ

カーボン・オフセットのクレジット売却益による“海”の環境活動の推進

横浜市漁業協同組合

八景島の沖合でワカメを養殖しています。ワカメは、生長に伴って海水中の窒素やリンを吸収し、海水の富栄養化の防止に寄与します。また、地産地消の推進が CO₂ 削減に繋がります。



NPO 法人海辺つくり研究会

日本各地でアマモ場を造成・保全する活動をしています。横浜では、臨港パーク前の海域にて、ワカメの植付け・収穫による環境啓発イベント「夢ワカメワークショップ」を開催しています。



株式会社横浜八景島

横浜・八景島シーパラダイス内のうみファームにおける、東京湾の生きもの観察ツアー「グリーンキッズ」や、ワカメの植付け・収穫を行うイベントなど、様々な環境啓発イベントを開催しています。



【認証する CO₂ 削減効果】

- ◆ ワカメを市外から搬入せずに「地元産ワカメの地産地消」を行うことにより CO₂ 削減に貢献する量を算定しています。
- ◆ 横浜・八景島シーパラダイスでは、年間を通じて温度が安定している海水のエネルギーを活用した先進的なヒートポンプを水族館の空調設備に導入しています。「海水ヒートポンプの導入」の省エネ効果による CO₂ 削減に貢献する量を算定しています。

横浜市漁業協同組合

「地元産ワカメの地産地消」

ワカメの養殖・販売

26 年度削減量 13.7 t-CO₂

27 年度削減量 16.0 t-CO₂

NPO 法人海辺つくり研究会

「地元産ワカメの地産地消」

環境啓発イベント「夢ワカメワークショップ」

27 年度削減量 1.0 t-CO₂

株式会社横浜八景島

「地元産ワカメの地産地消」

ワカメの植付け・収穫イベント

26 年度削減量 2.1 t-CO₂

27 年度削減量 0.7 t-CO₂

「海水ヒートポンプの導入」

26 年度削減量 0.9 t-CO₂



- ・NPO 海辺つくり研究会 27 年度分 1.0 t-CO₂
- ・株式会社横浜八景島 26 年度分 2.4 t-CO₂
- ・横浜市漁業協同組合 26 年度分 11.1 t-CO₂

- ・株式会社横浜八景島 27 年度分 0.7 t-CO₂
- ・横浜市漁業協同組合 27 年度分 7.6 t-CO₂

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

(平成 27 年 5 月)



14.5 t-CO₂

21.0 t-CO₂ は J-VER クレジットを活用

杉の木 約 1,667 本分



第6回 横浜シーサイドトライアスロン大会

(平成 27 年 10 月)



8.3 t-CO₂

杉の木 約 954 本分



【カーボン・オフセットを行う CO₂ 排出量】

大会運営におけるエネルギー利用や、出場選手及びスタッフが電車等により自宅から会場まで往復移動したことによる CO₂ 排出量を算定し、認証された CO₂ 削減効果のクレジットを購入することでオフセットします。

- ※1) 「カーボン・オフセット」とは、自分の温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量(クレジット)で相殺(オフセット)することをいいます。
- ※2) 上記のカーボン・オフセットは、8,640 円/t-CO₂ でクレジット売買が行われています。
- ※3) 樹齢 80 年の杉の木 1 本 1 年分の CO₂ 吸収量を 8.7kg-CO₂/年として計算しています。
- ※4) 2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会のカーボン・オフセットでは、横浜ブルーカーボンによる CO₂ 削減量が不足したため、国の制度による J-VER クレジットを活用し、東日本大震災における被災地での CO₂ 削減活動である「磐城造林(株)社有林における田人町旅人での森林吸収プロジェクト」により、排出量 21.0 t-CO₂ をオフセットしています。

シーサイドトライアスロン大会の会場では…

関東学院大学、横浜市立大学を中心に「かなざわ八携協定」締結団体の御協力により、両大学の学生が考案したレシピによる地元産わかめ(スープ)の試食イベント「かなざわ八携 Soup Bar(スープバー)」を開催し、盛況を博しました!



カーボン・オフセット、イベントや講座などを通じ、様々な市民や企業・団体にご参画いただき、海洋資源を活用した取組みの輪を広げていきます!

お問合せ先

温暖化対策統括本部 環境未来都市推進課担当課長	高橋 知宏	TEL 6 7 1 - 3 9 0 1 (横浜ブルーカーボン)
(公財)横浜市体育協会 トライアスロン推進部長	金子 忠彦	TEL 6 8 0 - 5 5 3 8 (トライアスロン大会)
市民局 大規模スポーツイベント課長	石川 武史	TEL 6 7 1 - 3 2 0 1